

台湾 CPC 社向け LNG 受入基地建設に係わるコンサルティング業務の受注について

2022 年 4 月 6 日

大阪ガス株式会社

Daigas ガスアンドパワーソリューション株式会社

大阪ガス株式会社（社長：藤原正隆、以下「大阪ガス」）の 100%子会社である Daigas ガスアンドパワーソリューション株式会社（社長：後藤暢茂、以下「DGPS」）は、台湾の国営石油・ガス事業者である台湾中油（CPC Corporation, Taiwan、以下「CPC」）より、台中 LNG 受入基地の第四期拡張プロジェクトにおける、LNG 受入基地の基本設計業務及び技術コンサルティング業務（以下「本案件」）を受注しました。

近年、台湾政府は脱原子力発電政策と温暖化ガス削減政策を進めており、その一環として 2025 年までに国内の発電量における天然ガス火力発電の比率を 50%まで引き上げることを計画しています。これに伴い CPC は積極的に LNG 輸入や貯蔵容量の拡張に取り組んでいます。

本案件は台中市で運用中の台中 LNG 受入基地の第四期拡張プロジェクトに係わるものです。当該拡張エリアの設備は LNG タンク（18 万 kl × 4 基）、気化設備、外航船受入設備とそれらの付帯設備から構成され、DGPS は全ての設備に係わる基本設計業務及び技術コンサルティング業務を担当します。本案件の完了は 2029 年を予定しており、本拡張プロジェクトの完成により、CPC 台中 LNG 受入基地の受入能力は 1300 万トン/年まで増加する予定\*1です。

大阪ガスは、1972 年の LNG 輸入開始以来、国内 2 ヶ所の LNG 受入基地の運営を通じて、オペレーション、メンテナンスを安全かつ効率的に行うノウハウを蓄積してきました。また DGPS は、その前身である大阪ガスエンジニアリング株式会社が 1990 年に CPC の永安 LNG 受入基地の初期工事における試運転を支援して以来、現在も桃園市の観塘 LNG 基地（第三 LNG 受入基地）の技術コンサルティング業務を遂行\*2するなど、同社の LNG 受入基地に関わる事業へ継続的に従事し、強い信頼関係を築いてきました。本案件の受注は、当社グループの国内外における LNG 基地の設計・建設・運用に関する高い技術力、ならびに台湾における当社の絶え間ない貢献と実績\*3が評価されたものです。

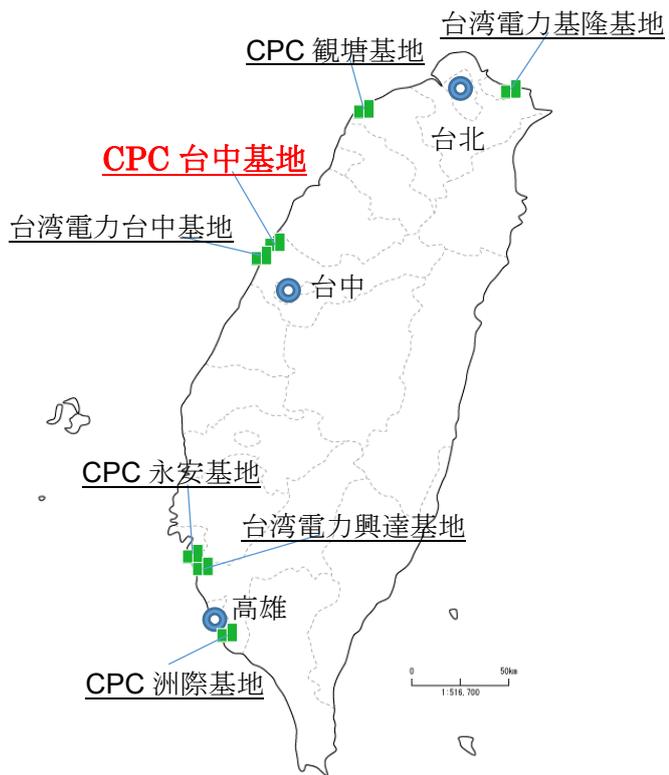
Daigas グループは、今後も国内で培ったノウハウやこれまでに構築した海外事業基盤を最大限活用し、上流から中下流まで海外エネルギー事業の拡大を進めることを目指していきます。

\*1：CPC 公開の「台中工場港外拡張(四期)実行可能性研究」より

\*2：2018 年 5 月 17 日 DGPS の前身の一部である大阪ガスエンジニアリング株式会社により「台湾における LNG 受入基地建設に係るコンサルティング業務の受注について」で公表済

[web ページはこちら](#)

\*3：DGPS はこれまで、台湾をはじめとした 9 か国 40 件の LNG 受入基地の建設や運転、保守に関するコンサルティング業務を実施



台湾国内の LNG 受入基地 (計画中、建設中含む)



CPC 台中基地 (第二期) LNG タンク

以上